

京都府漁海況情報

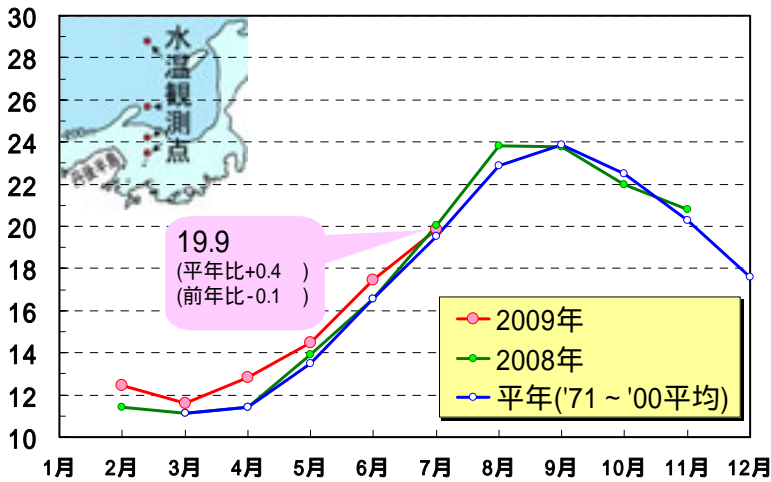
京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

海の状況

【現況】

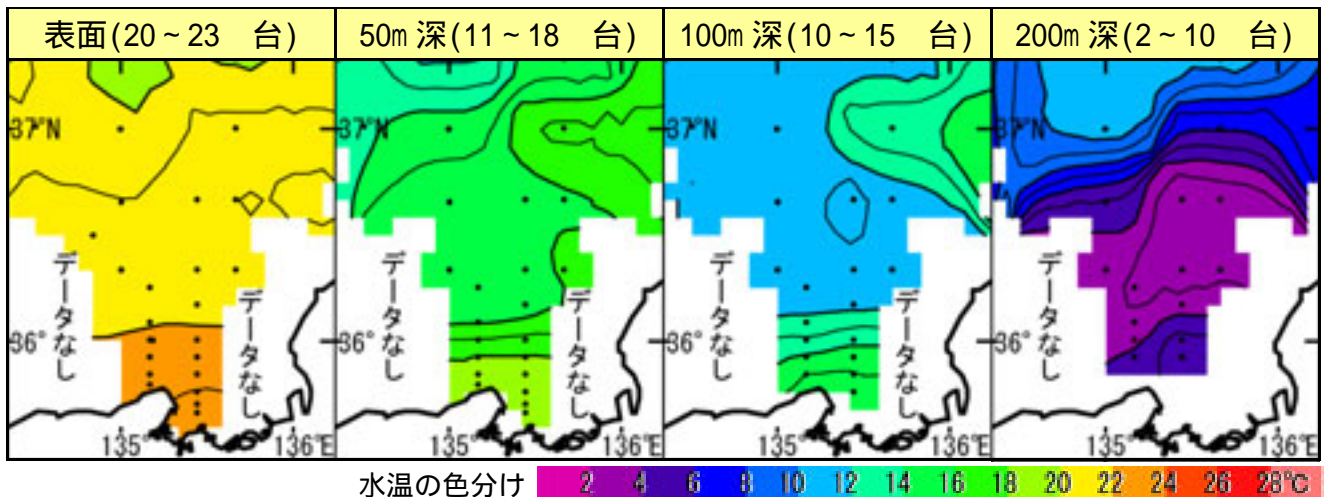
7月上旬における京都府周辺の表層水温は、平年並みで推移しています。

京都府沖の表層水温(0～50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2009年7月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元：(独)日本海区水産研究所, 気象庁, 九州大学応用力学研究所

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年並み～やや高め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年より強め」で推移する見込み
沖合からの冷水域の張り出し	「平年より弱め」で推移する見込み

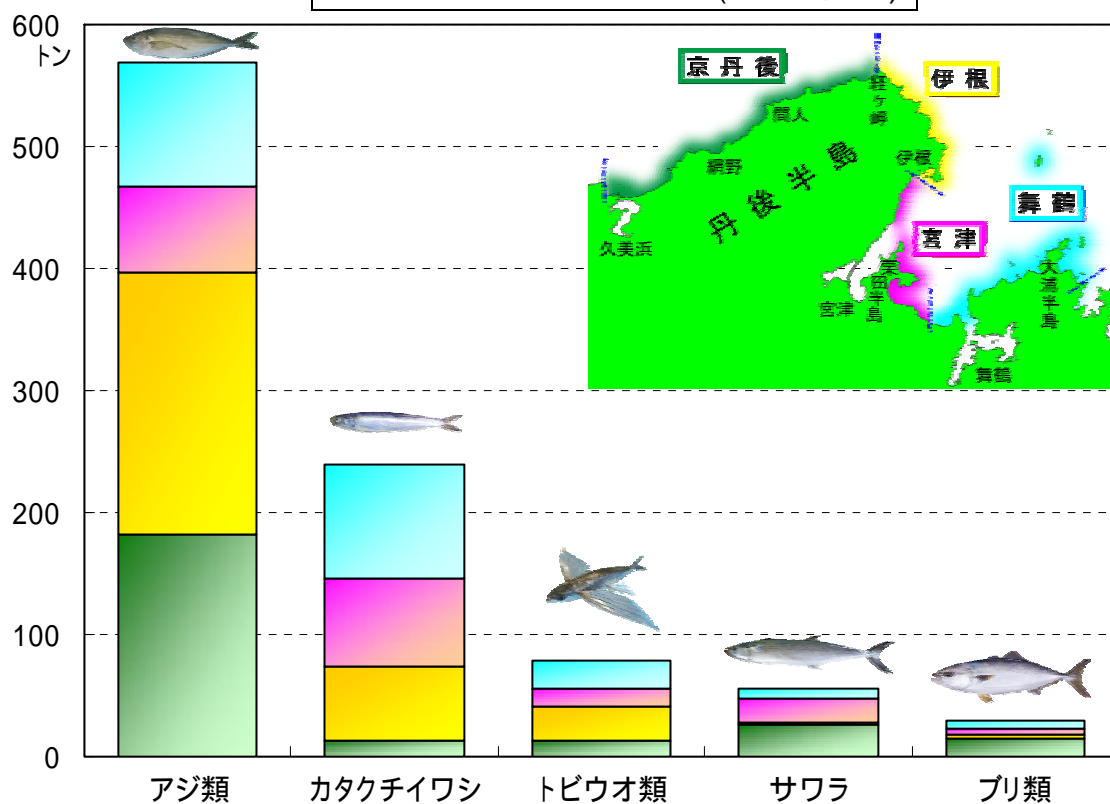
冷水域の張り出しが強いと、対馬暖流域に生息するブリなどの浮魚類が沿岸に来遊しやすいと考えられています

漁模様 ～2009年6月～

【定置網漁業】

アジ類が好漁でした。全体では前年および平年をやや下回る水揚げでした。

2009年6月の地域別漁獲量(上位5魚種)



6月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2009年	2008年(前年比)	平年(平年比)	備考
アジ類	568.8	386.0 (147%)	452.5 (126%)	<カタクチイワシ>
カタクチイワシ(たれ)	239.6	330.9 (72%)	392.6 (61%)	体長6～11cm台で、10cm未満が主体でした。
トビウオ類(あご)	78.3	131.0 (60%)	79.0 (99%)	<プリ類>
サワラ	55.9	57.6 (97%)	28.3 (198%)	はまち銘柄(尾さ長 35～45cm)が主体でした。
プリ類	30.2	108.7 (28%)	51.2 (59%)	<サワラ>
カマス類	19.4	16.3 (119%)	13.7 (142%)	さごし銘柄(尾さ長 40～55cm台)が主体でした。
イカ類	18.7	13.7 (137%)	53.4 (35%)	<トビウオ類>
スズキ	12.2	10.7 (114%)	6.6 (185%)	ホソトビウオ(丸あご)が約7割、ツクシトビウオ(角あご)が約3割でした。
マグロ類	8.8	7.2 (122%)	3.6 (241%)	
サバ類	8.1	17.9 (45%)	32.0 (25%)	
その他	47.6	63.5 (75%)	82.2 (58%)	
合計	1087.6	1143.5 (95%)	1195.1 (91%)	

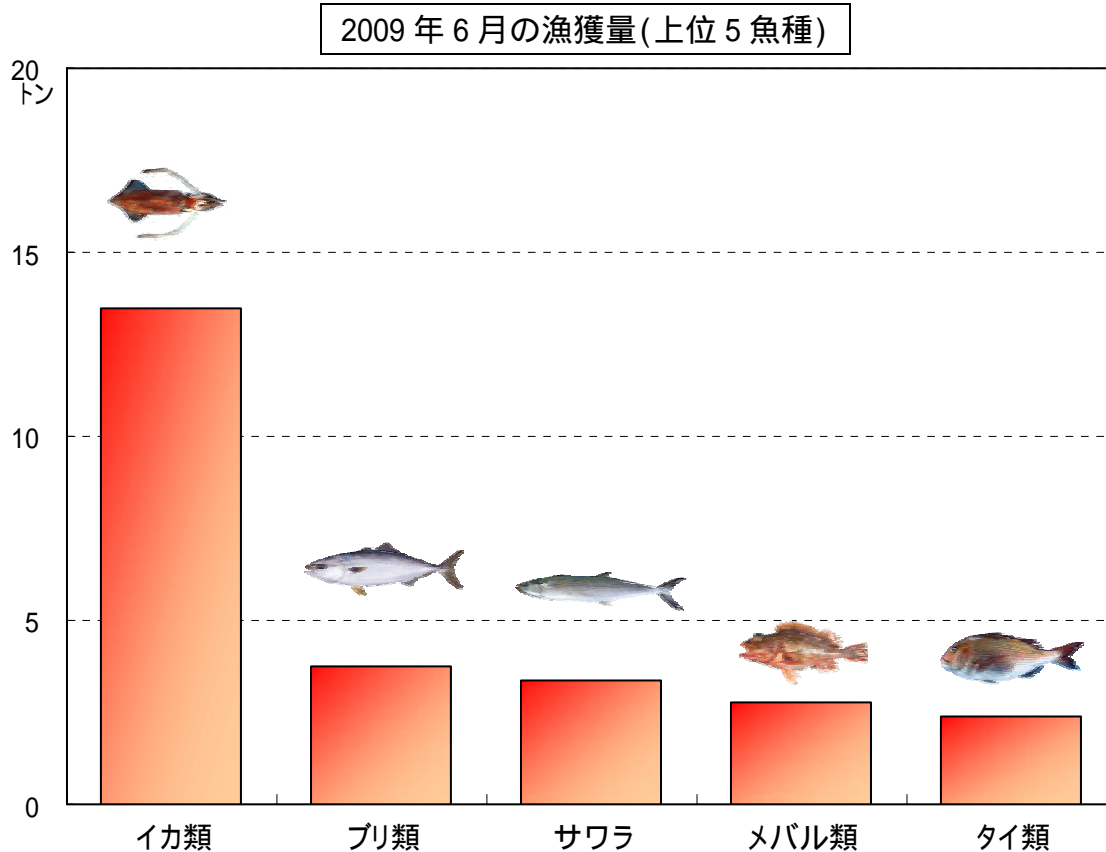
平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

資源保護のため、6月1日から8月31日まで休漁です。

【釣り・はえなわ漁業】

平年をやや下回り、前年と同じくらいの水揚げでした。



6月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2009年	2008年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	13.5	20.0 (67%)	20.1 (67%)	<プリ類> 定置網と同様に、はまち銘柄が主体でした。 <イカ類> スルメイカが主体でした。
プリ類	3.8	1.0 (367%)	3.1 (123%)	
サワラ	3.3	1.9 (172%)	1.8 (182%)	
メバル類(もいお)	2.8	2.9 (96%)	2.6 (106%)	
タイ類	2.4	2.8 (87%)	4.1 (58%)	
アマダイ(ぐじ)	1.9	1.8 (105%)	2.3 (81%)	
アジ類	1.3	0.3 (422%)	1.5 (86%)	
カレイ類	0.6	-	0.6 (94%)	
スズキ	0.4	0.3 (116%)	0.7 (51%)	
タチウオ	0.2	0.6 (42%)	2.7 (9%)	
その他	4.2	2.6 (160%)	5.7 (74%)	
合計	34.3	34.2 (100%)	45.3 (76%)	

平年は過去10年平均

【トピック ～大きなぐじ～】

京都の海を代表する高級魚の一種であるアカアマダイは、古くからぐじと呼ばれて珍重されてきました。ぐじは体重 1kg 前後もあれば十分大物ですが、今年 6 月 19 日に伊根沖で体重 1.75kg、全長 50cm の超のつく大物を漁業者が釣りあげました。大きいほどおいしいとされるぐじですが、はたしてそのお味はどうだったのでしょうか。



写真提供：(独)水産総合研究センター 宮津栽培漁業センター 町田主任技術研究員